

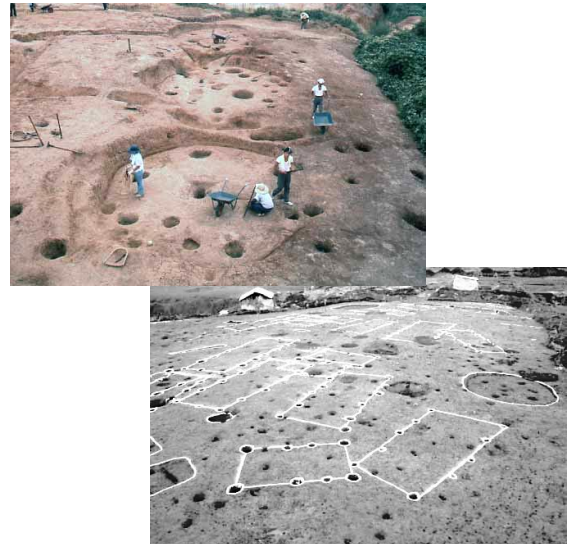
あおきいせき 青木遺跡（国指定史跡）

あおきいせき よなごしがいち なんとう きろめーとる ながえ あおきだんち
青木遺跡は米子市街地の南東5 kmの米子市永江の青木団地の中に
あります。昭和46年(1971)から昭和52年(1977)にかけて行われた団地造成
工事の発掘調査で、弥生時代から奈良時代の竪穴住居206棟、掘立柱建物260棟
など多くの遺構と土器、石器、など数万点の遺物が出土し、当時、西日本最大級の
集落として大きな注目をあつめ、一部が国の史跡に指定を受け保存されています。

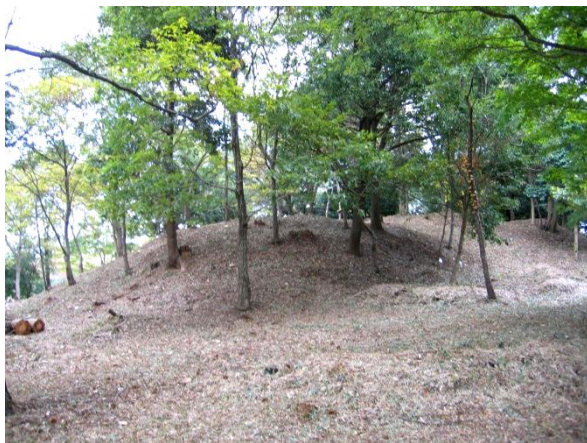
保存地区には、30mの前方後円墳2基を含む古墳17基、弥生時代から奈良時
代の竪穴住居跡23棟、掘立柱建物跡9棟などが残されています。現在は、住宅
団地のなかの史跡緑地公園として整備されています。



調査中の青木遺跡



竪穴住居跡と掘立柱建物跡



保存整備後の史跡 青木H35号墳



青木1号地